

2025年8月期 通期 決算説明資料

2025年11月21日 | 証券コード：9264

- 会社概要
- 2025年8月期通期連結業績
- 成長戦略に対する進捗状況
- 2026年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

ポンプ・イクイップメント・エキスパート

Pump Equipment Expert

ポンプ装置の専門家

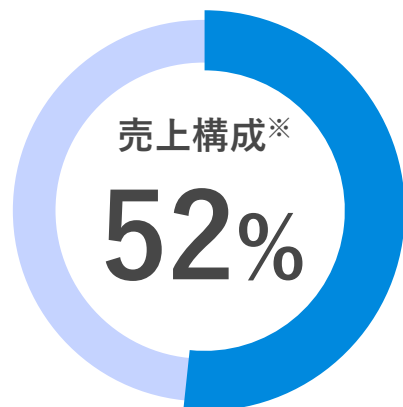
ポンプメーカー出身の創業者が
ポンプ装置に特化した会社を目指したことに由来。
現在では、社会インフラを支えるプロフェッショナル集団として、
ひと・みず・くうきに関するあらゆる分野での成長を目指す。

会 社 名	ポエック株式会社 Puequ Co., LTD.
代 表 者	代表取締役会長 来山 哲二 代表取締役社長 松村 俊宏
所 在 地	広島県福山市南蔵王町2-1-12
事 業 内 容	1. ポンプ、送風機、空調機、工場設備機器の販売 2. 機器類修理、保守点検、設計施工 3. 防災機器の販売 4. 産業設備機器の販売
資 本 金	1,694,695,080円（2025年8月現在）
設 立	1989年（平成元年）1月25日
従 業 員 数	67名／連結275名（2025年8月現在）
上 場 取 引 所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード 9264）
事 業 拠 点	仙台・北陸・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福山・松山・高松・福岡

ひと・みず・くうきに関わるビジネスを展開

環境・エネルギーセグメント

環境・水処理機器の製造・販売・修理及びメンテナンス等技術サービス



取扱製品

環境関連機器

水処理機器（ポンプ類、攪拌機等）

環境改善機器

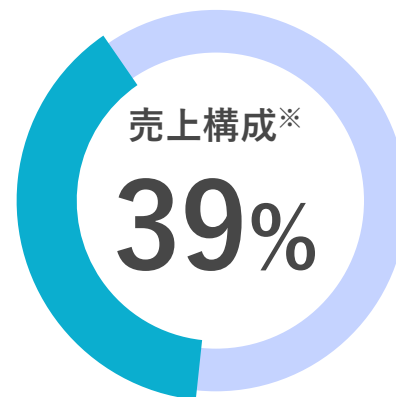
景観配慮型防潮壁（SEEWALL）、
オゾンガス発生装置、窒素ガス発生装置、
オゾン水製造装置、オゾン脱臭装置

エネルギー関連機器

プレート & シェル熱交換器

動力・重機等セグメント

船舶用機械及び部品、プラント関係機器及び
その他動力関係部品の製造・販売



取扱製品

船舶用機械及び部品

エンジン台板
小型精密部品（燃料噴射弁等）

プラント関係機器

ボイラー・圧力容器等

防災・安全セグメント

消火装置、その他消防機器の製造・販売・
設置装置の保守及びメンテナンス等技術サービス

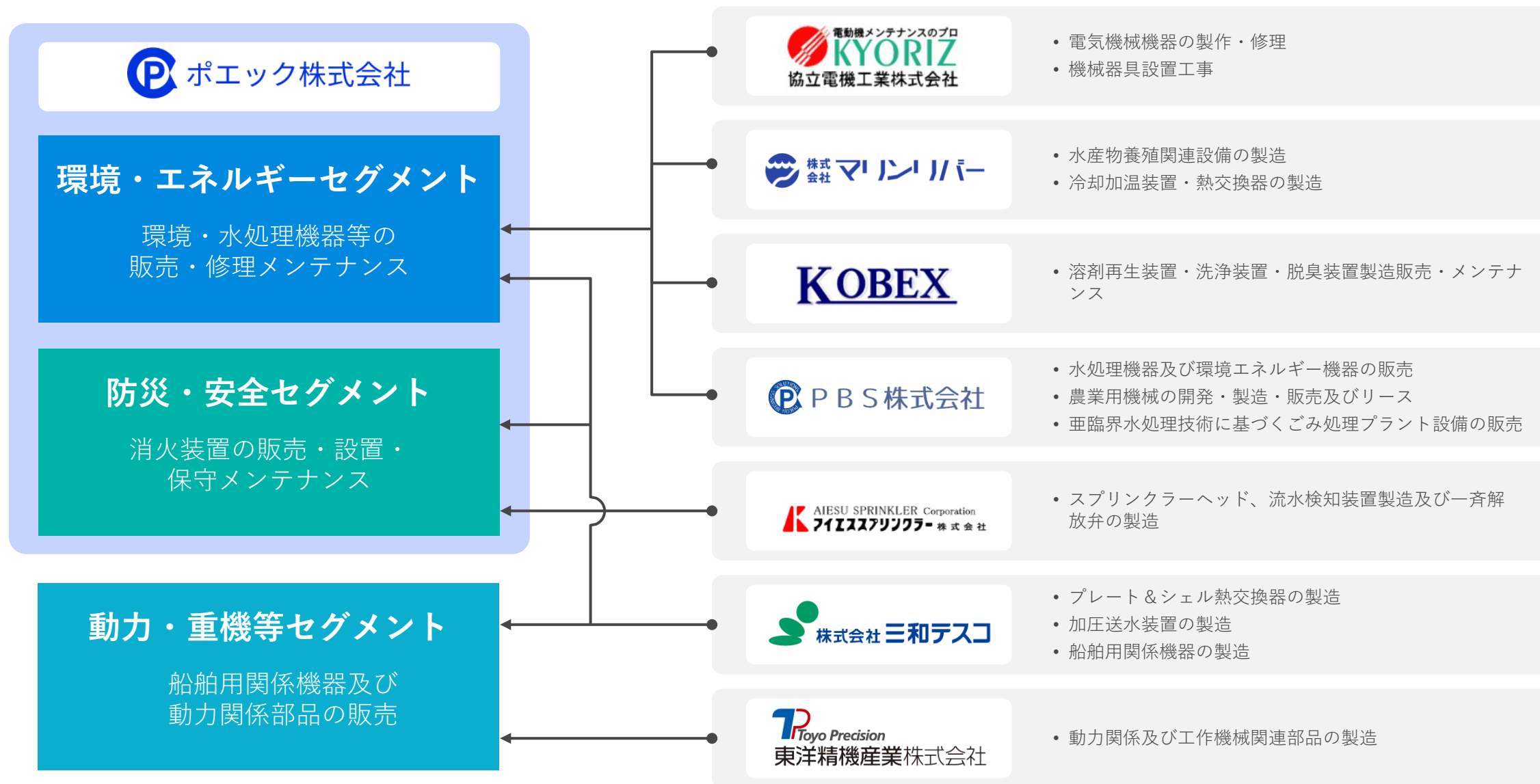


取扱製品

消防装置、その他消防機器

屋内・屋外消火栓
スプリンクラー消火設備用
加圧送水装置

当社と連結子会社7社でグループを構成



- 会社概要
- 2025年8月期通期連結業績
- 成長戦略に対する進捗状況
- 2026年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

売上高・営業利益ともに、前期比2桁成長の大幅増収・増益

連結売上高

10,114百万円

前期比 **120.8%**

連結営業利益

911百万円

前期比 **164.2%**

セグメント別売上高

環境・エネルギーセグメント

5,228百万円

前期比 **118.3%**

動力・重機等セグメント

3,915百万円

前期比 **109.8%**

防災・安全セグメント

971百万円

前期比 **252.1%**

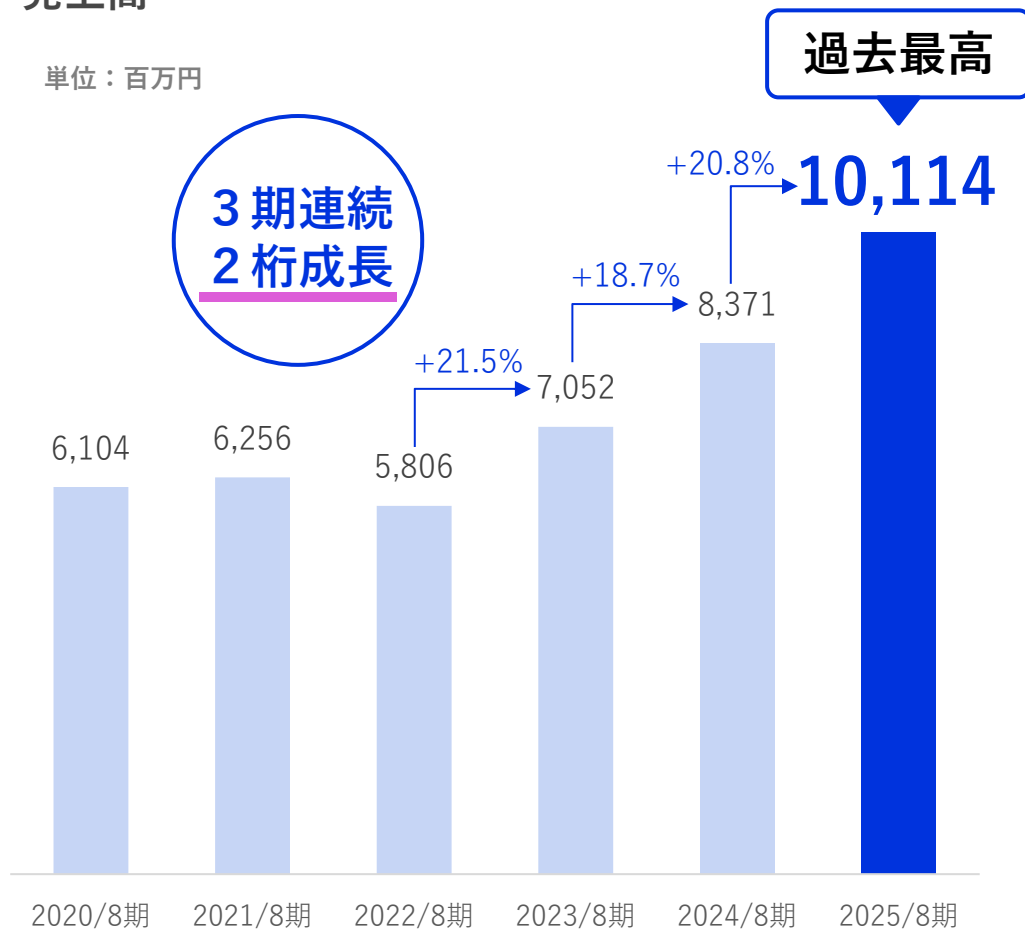
売上高は前期比+20.8%、営業利益は+64.2%の大幅増収増益を達成

	2024/8期 実績		2025/8期 実績		前期比		(参考) 通期予想
	金額	売上比率	金額	売上比率	増減額	増減率	
売上高	8,371	-	10,114	-	+1,743	120.8%	10,500
売上総利益	1,992	23.8%	2,663	26.3%	+671	133.7%	-
販管費	1,436	17.2%	1,751	17.3%	+315	121.9%	-
営業利益	555	6.6%	911	9.0%	+356	164.2%	1,000
経常利益	430	5.1%	986	9.7%	+556	229.2%	1,000
当期純利益	195	2.3%	573	5.7%	+378	293.0%	600
1株当たり 当期純利益 (円)	42.34	-	123.64	-	+81.30	-	129.05

売上高・営業利益ともに3期連続の2桁成長を達成 業容拡大により営業利益率も年々増加

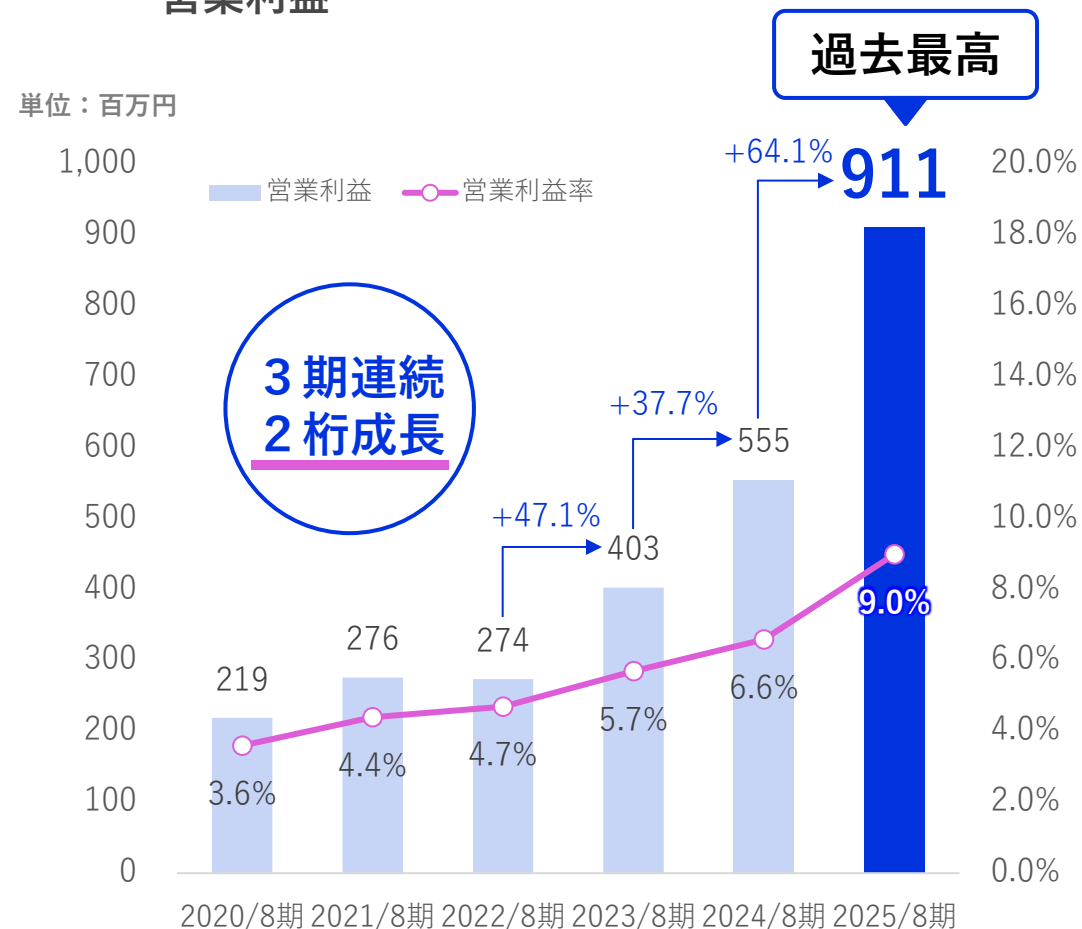
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



新たに当社グループに加わった2社の寄与もあり
「環境・エネルギーセグメント」と「防災・安全セグメント」が前期比大幅増収・増益

	2024/8期 実績	2025/8期 実績	前期比	2025/8期 予想	予想比
単位：百万円					
環境・エネルギーセグメント					
セグメント売上高	4,419	5,228	118.3%	5,724	91.3%
セグメント利益	233	250	107.6%	-	-
利益率	5.3%	4.8%	△0.5pt	-	-
動力・重機等セグメント					
セグメント売上高	3,566	3,915	109.8%	3,818	102.5%
セグメント利益	478	726	151.9%	-	-
利益率	13.4%	18.6%	+5.2pt	-	-
防災・安全セグメント					
セグメント売上高	385	971	+252.1%	957	101.5%
セグメント利益	57	140	244.6%	-	-
利益率	14.8%	14.4%	△0.4pt	-	-

単位：百万円

セグメント売上高

5,228百万円

前期比 118.3%

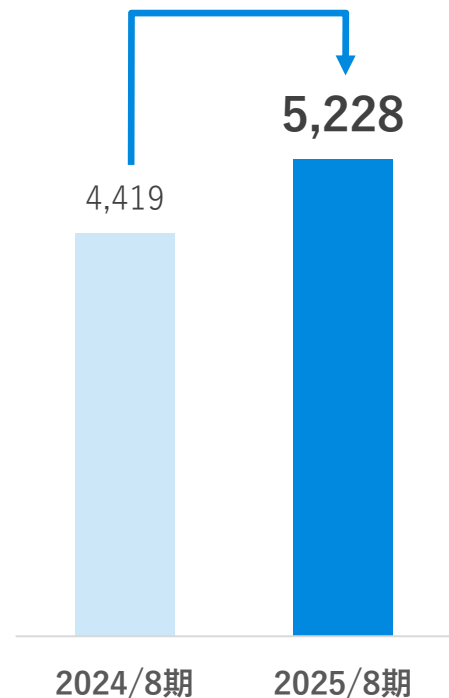
セグメント利益

250百万円

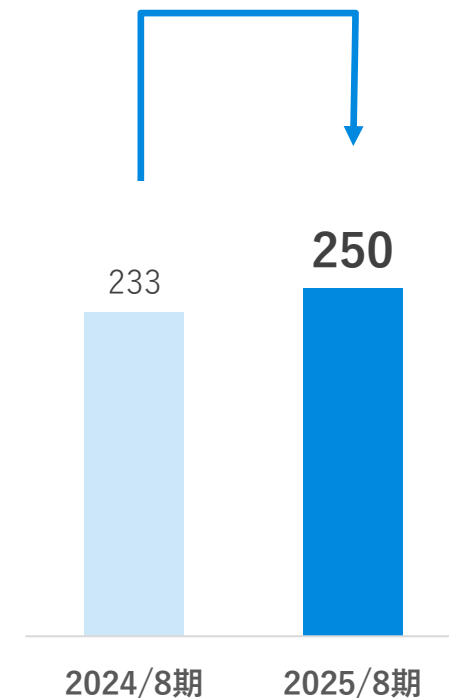
前期比 107.6%

- ポンプ等水処理機器の卸販売事業は、安定した商品供給体制を維持することで顧客の多様なニーズに応え、順調に推移
- 株式会社マリンリバーが展開する**陸上養殖向け冷却装置の製造・販売事業**は、食料安全保障や持続可能な水産業への社会的関心の高まりを背景に**幅広い業界からの投資需要が増加し、売上高が前年同期比で大幅に拡大**
- 2024年4月に当社グループに参画したコーベックス株式会社の**有機溶剤（シンナー・トルエン等）のリサイクル装置は、GX推進法や排出規制強化などを契機として多方面からの引き合いが増加し、売上高は2桁成長し、グループ収益に大きく貢献**

セグメント売上高

+809百万円
118.3%

セグメント利益

+17百万円
107.6%

単位：百万円

セグメント売上高

3,915百万円

前期比 109.8%

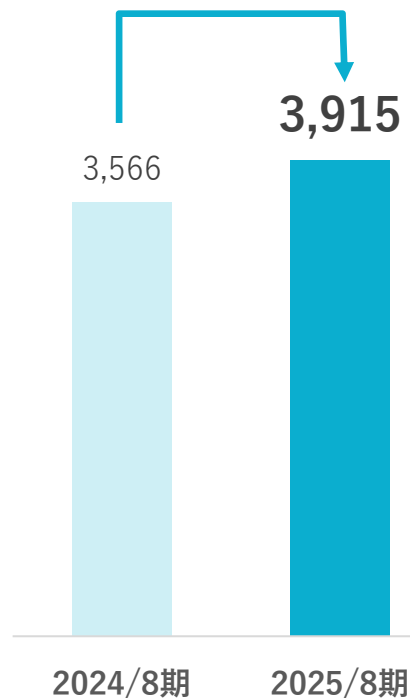
セグメント利益

726百万円

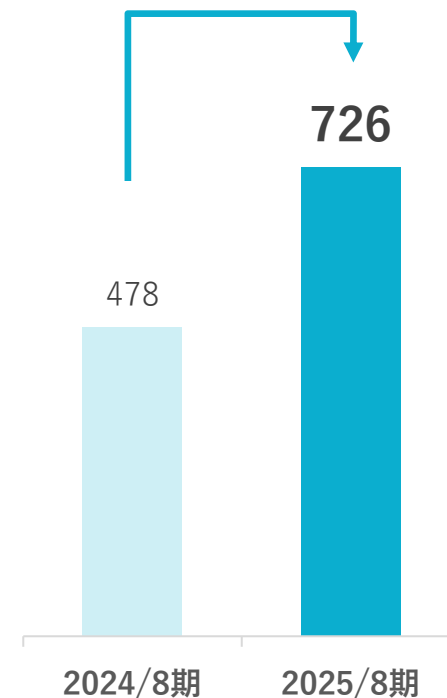
前期比 151.9%

- 「プラント向けの環境対応型高効率設備機器」においては、**複数の大型案件が計画通りに進捗し、引き合い及び受注が前年比で増加**
- 東洋精機産業株式会社が手がける船舶用エンジン部品の精密加工事業では、**品質面での信頼性が顧客から高く評価され、リピート受注とともに新規案件の引き合いが順調に拡大**。技術者主導の提案型営業の強化により、付加価値の高い受注ポートフォリオへのシフトが進み、**利益率が改善**

セグメント売上高

+349百万円
109.8%

セグメント利益

+248百万円
151.9%

単位：百万円

セグメント売上高

971百万円

前期比 252.1%

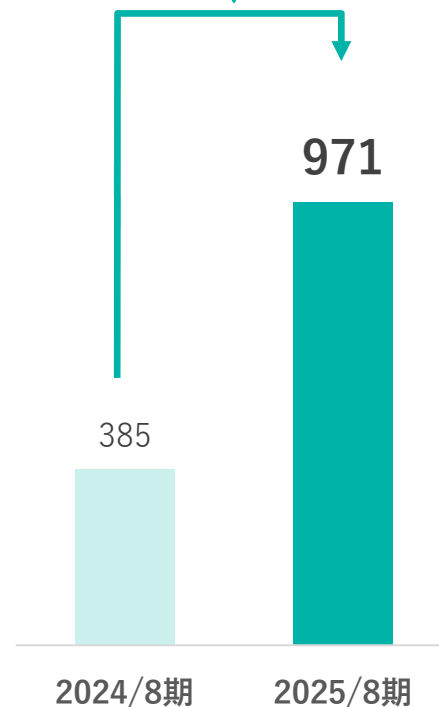
セグメント利益

140百万円

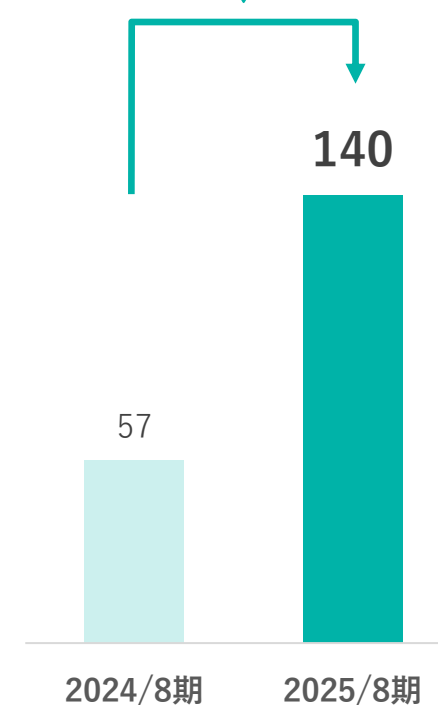
前期比 244.6%

- 本セグメントの主力製品であるスプリンクラー式消火装置「ナイアス」は、医療機関や福祉施設における安全対策の強化ニーズを背景に、販売が回復基調から成長局面へと移行し、売上高が順調に拡大。特に、消防法改正や自治体による防火設備助成制度の拡充を受けて、病院・高齢者施設における新築工事および老朽施設の改修案件やスプリンクラー未設置施設への新規導入案件が着実に増加
- 2024年7月に連結子会社となったアイエススプリンクラー株式会社の業績も本セグメントの増収・増益に寄与

セグメント売上高

+586百万円
252.1%

セグメント利益

+83百万円
244.6%

単位：百万円	2024/8期末	2025/8期末	前期末比	増減額
流動資産	5,632	8,088	143.6%	+2,456
現預金	2,067	4,339	209.9%	+2,272
固定資産	5,718	6,996	122.4%	+1,278
有形固定資産	4,045	5,324	131.6%	+1,279
資産合計	11,350	15,085	132.9%	+3,735
流動負債	4,692	6,278	133.8%	+1,586
固定負債	2,544	4,550	178.9%	+2,006
負債合計	7,236	10,829	149.7%	+3,593
株主資本	4,109	4,242	103.2%	+133
資本金	1,664	1,694	101.8%	+30
資本剰余金	1,522	1,552	102.0%	+30
利益剰余金	922	1,249	135.5%	+327
純資産合計	4,114	4,255	103.4%	+141
負債純資産合計	11,350	15,085	132.9%	+3,735

自己資本比率	
2024/8期	36.2%
2025/8期	28.2%

ROA（総資産利益率）	
2024/8期	1.7%
2025/8期	3.8%

ROE（自己資本利益率）	
2024/8期	4.8%
2025/8期	13.7%

営業活動によるキャッシュフローが大幅に増加

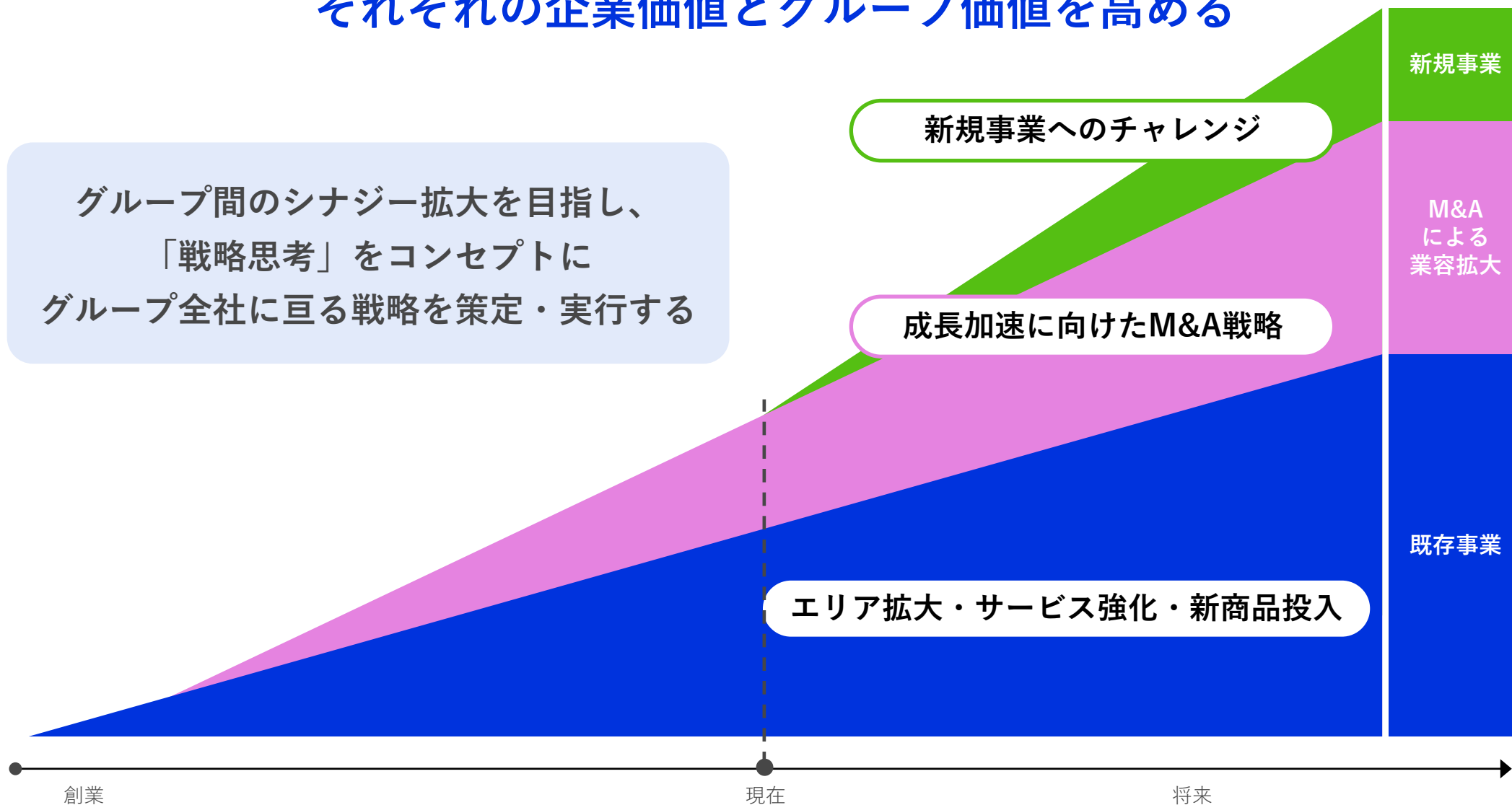
	2024/8期	2025/8期	増減	主な要因
単位：百万円				
営業活動によるCF	33	1,062	+1,029	・税金等調整前当期純利益 948
投資活動によるCF	△1,254	△1,075	+179	・有形固定資産の取得による支出 1,304
財務活動によるCF	574	2,415	+1,841	・長期借入の返済による支出 △1,025 ・社債の発行による収入 1,971 ・短期借入金の純増減額 1,043
現金及び現金同等物の増減	△647	2,403	+3,050	
現金及び現金同等物の期末残高	1,626	4,030	+2,404	

- 会社概要
- 2025年8月期通期連結業績
- 成長戦略に対する進捗状況
- 2026年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

ひと・みず・くうきにかかわる事業（ビジネス）に投資・育成し、 それぞれの企業価値とグループ価値を高める



これまでに合計11件のM&Aを実行し事業を拡大、「技術を見つけ、育て、活かす」M&A戦略

既存事業の強化・拡大に向けてのM&A

当社初のM&A - ポンプ事業強化

山尾産業(株)より水処理部門の営業権を取得し、ポンプ事業強化

1997

製造拠点の拡大 / 動力・重機等事業スタート

当社企画・開発製品の製造拠点とすることを目的として、独自の製缶・溶接技術を保有する(株)三和テスコを子会社化し、メーカー機能を強化

2003

製造技術力強化

グループの製造技術補完のため、一貫生産体制で高品質な精密機械加工及び熱処理に強みを持つ東洋精機産業(株)を子会社化

2008

販売チャネル拡大と人材強化

セイブン(株)より営業権を譲り受け、販売チャネルと人材を獲得

2011

「ナィアス」製造工程の一部内製化

過去より外注委託取引のあった三和テスコとの連携による経営効率化及び相乗効果を目的として(株)ミトを子会社化（2020年に三和テスコと合併）

2019

関東地方進出の足掛かり

販路拡大、関東圏での受注拡大のため機器メンテナンス・修理に強みを持つ協立電機工業(株)を子会社化

防災事業強化

防災事業の当社製品「ナィアス」とのシナジー効果を目的とし、スプリンクラー専業メーカーのアイエススプリンクラー株式会社を子会社化

2024

新規事業展開に向けてのM&A

オゾン脱臭装置事業へ参入

(株)オーゼットよりオゾン脱臭装置の営業権、製造権、特許権を取得

2002

水中攪拌機製造技術の取得

オガタ工業(株)より水中攪拌機の営業権及び製造権を譲り受け、攪拌機製造技術を取得しメーカー機能を強化

2009

陸上養殖装置事業へ参入

製造面でのシナジーおよび販売面でのクロスセルを目的として、養殖設備製造ニッチトップ企業の(株)マリンリバーを子会社化

2021

有機溶剤の回収・リサイクル装置事業へ参入

有機溶剤の回収・リサイクルシステムにおいて高い技術と実績を持つコーベックス株式会社を子会社化

2024

M&A実施事例

KOBEX

(2024年4月 子会社化)

有機溶剤のリサイクル装置・脱臭、洗浄装置の製造・販売



真空蒸留連続回収装置 CA800シリーズ

**工場・製造現場における環境対策に有効！
有機溶剤の回収・リサイクルシステム****産業廃棄物を
再利用可能な溶剤に**

印刷インキや塗料の製造工程で使用された溶剤等を再利用可能な状態に洗浄

**CO2排出を大幅に抑制、
ランニングコストも安い**

従来の蒸留方式に比べてCO2排出量を大幅に抑制、ランニングコストも大幅削減

**工場での産業廃棄物処理費を
大幅に削減可能**

当社製品 CA802を導入したお客様の事例

月に平均ドラム缶40本の廃溶剤を社内リサイクルの実行で年間約**1,400万円**のコストを削減**売上高
2桁成長****GX推進法や排出規制強化などを契機として、引き合いが急増**

M&A実施事例

 AIESU SPRINKLER Corporation
ファイエススプリンクラー 株式会社

(2024年7月 子会社化)

スプリンクラーヘッドや流水検知装置などを主力とした防災機器専門メーカー

\\ 衝撃による水損事故ゼロ! //

対衝撃型スプリンクラーヘッド



(参考) スプリンクラーの設置規定

- 消防法により建物の階数、延べ面積、建物の用途によって設置基準が規定
- 大型のビル：何千個～何万个設置

高い信頼に基づく、大手ゼネコンや
防災商社との強固なネットワーク



\\ 当社既存製品 //

消火装置「ナイアス」



- 世界初 圧力水槽方式 (窒素加圧)
- 災害時に電気・水道がストップしても使用可
- 水槽内の水は非常用にも使用可

ナイアスとスプリンクラーヘッドのクロスセルや
営業人材交流による顧客カバレッジの拡大などの施策展開を開始

既存事業を活用し、環境問題などの社会的課題を解決する 新規事業へチャレンジ

1

当社および当社グループの
技術が活用できる事業

当社の37年のポンプ事業の
技術および子会社が保有する
精密機器/電気機器/
熱交換器等の技術を
生かせる事業

2

社会的課題を
解決する事業

「脱炭素化」
「世界的な食糧危機への対策」
「地球温暖化対策」などの
社会的課題を解決する事業

3

新規性（競合がないまたは優位性）
がある事業

競合とは異なる視点で、
社会的課題を解決する
ソリューションを提供

亜臨界水プラント向け高温高圧器設備



三和テスコが有する「溶接」「加工」「組立」の技術を活用し、
亜臨界水プラント向け高温高圧器設備を開発

亜臨界水プラントとは

- 亜臨界水処理技術による廃棄物処理施設
- 従来の廃棄物焼却で問題となっていたダイオキシン・CO2を発生させない処理施設として注目されている



全国のごみ焼却施設や工場などへの展開を視野に、
視察見学などの受入を開始



亜臨界水装置

水耕栽培による新たな事業を開始

連結子会社

PBS株式会社

(2023年8月期にライツ・オフリングにて調達した資金での事業)

2024年3月～

ポエックグループとして研究開発を進めていた水耕栽培の技術を用いて、LEDを使った完全密閉型施設でのレタスの水耕栽培とハウス内でのメロンの水耕栽培を開始



翡翠メロン

糖度16度以上の甘さ。東京にある富山県のアンテナショップにおいても即売の大好評。



翡翠レタス

ビタミンA、C、Eなどが通常の約2倍含まれる高機能レタス。



2025年4月

富山県「ヒスイ海岸」に
カフェをオープン



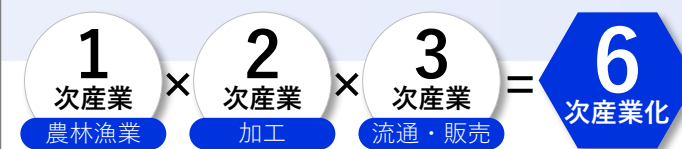
翡翠メロンをソフトクリーム、パフェ、フラッペに加工して提供



食と農をつなぐ“6次産業化”
ビジネスの確立・提供を目指す

パッケージ化

- 水耕栽培に必要なLEDなどの設備の販売
- 品質の高い果物や野菜を安定的に生産できるノウハウ
- 飲食店の運営や販売店を通じて提供する販路の開拓



継続的成長を見据え、生産性向上への投資に着手



船舶関連機器の製造

船舶のエンジンを支える
高い安全性と耐久性を追求
した商品を製造



動力関係及び工作機械関連部品の製造

大型船舶のディーゼルエンジンの心臓部
となる噴射装置のポンプから噴射の先端
のノズルまで、**高圧がかかる非常に厳し
い環境で使われる精密部品を製造**



- ・ 国際的な燃費規制強化を背景に高効率かつ低燃費の船舶エンジンの需要が増加
- ・ 生産効率向上に向けた設備投資を進め、納期短縮および利益率の改善を進める

- 会社概要
- 2025年8月期通期連結業績
- 成長戦略に対する進捗状況
- 2026年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

当社の強み

参考資料、その他

売上高前期比106.8%、営業利益同122.8%の成長を目指す

単位：百万円

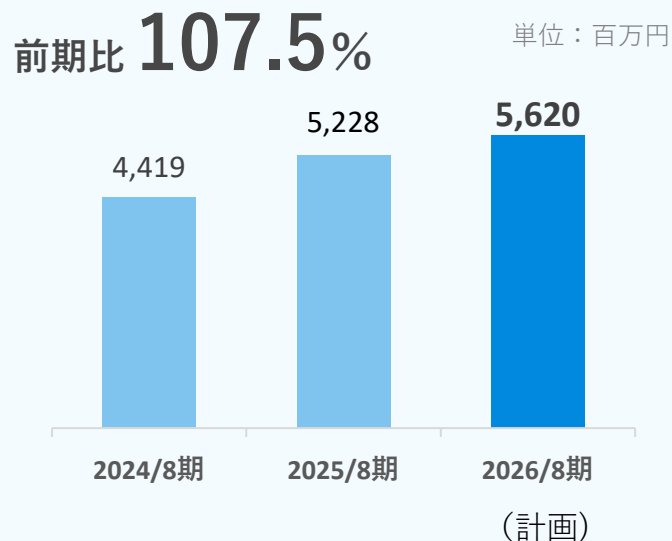
	2024/8期 実績		2025/8期 実績		2026/8期 業績予想		前期比
売上高	8,371	-	10,114	-	10,800	-	106.8%
環境・エネルギー	4,419	-	5,228	-	5,620	-	107.5%
動力・重機等	3,566	-	3,915	-	4,120	-	105.2%
防災・安全	385	-	971	-	1,060	-	109.1%
営業利益	555	6.6%	911	9.0%	1,120	10.4%	122.8%
経常利益	430	5.1%	986	9.7%	1,150	10.6%	116.5%
当期純利益	195	2.3%	573	5.7%	690	6.4%	120.3%
1株当たり 当期純利益（円）	42.34	-	123.64	-	148.74	-	-

「環境・エネルギーセグメント」が業績を牽引し、
「動力・重機等セグメント」及び「防災・安全セグメント」も堅調なる成長を目指す

環境・エネルギーセグメント

売上計画 **5,620**百万円

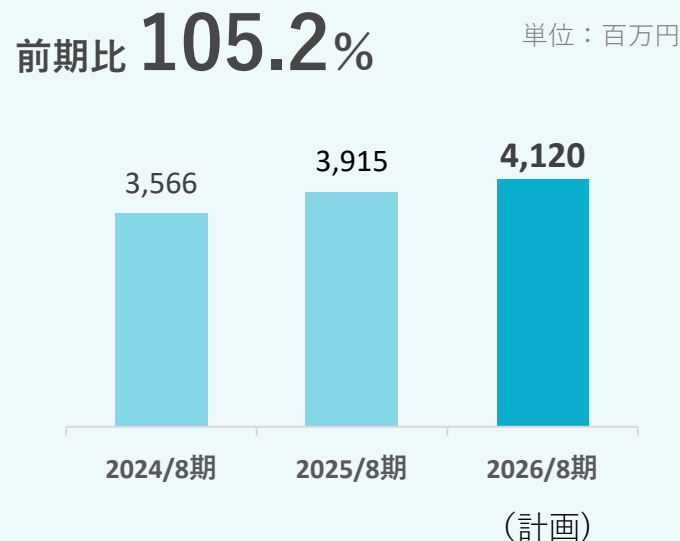
- ・ブレ幅の大きい大型受注案件は実績計上の確度が高い案件のみ計画に計上
- ・コーベックス株式会社の有機溶剤回収リサイクル装置については、多くの引合いがあることと、生産性の効率化により、前期比で大幅な売上と利益を計画に計上



動力・重機等セグメント

売上計画 **4,120**百万円

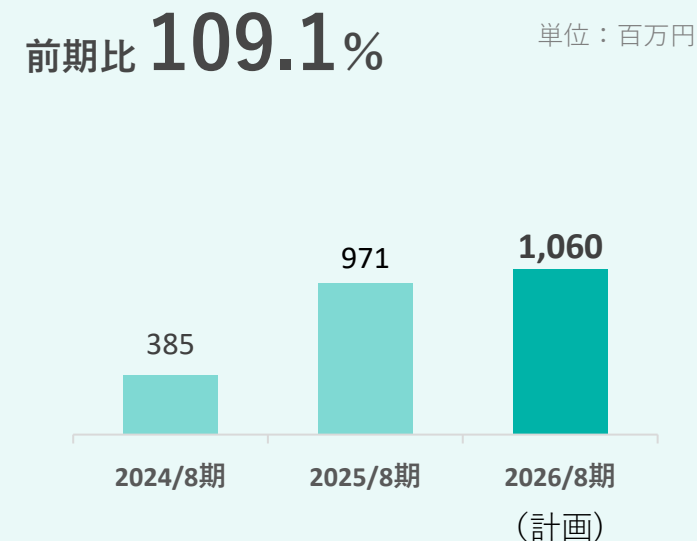
- ・主たる取引先である船舶関連業界の市況が好調に推移する見通しなことから、大手メーカーからの安定受注を見込む
- ・生産効率向上に向けた設備投資を進め、中長期的なコスト競争力と利益率の改善につなげる



防災・安全セグメント

売上計画 **1,060**百万円

- ・2024年7月より当社子会社となったアイエススプリンクラー株式会社が有する大手ゼネコンや防災商社との強固な取引ネットワークを活かし、当社既存商品の営業拡大を見込む



20期連続で配当実施

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、成長と株主還元を両立。
2026/8期は財務体質の安定に配慮しつつ株主への還元を重視し**75円に増配**する予定。

	2023/8期	2024/8期	2025/8期	2026/8期 予想
1株当たり配当金	33円	53円	70円	75円
連結配当性向	30.4%	125.2%	56.6%	50.4%

- 会社概要
- 2025年8月期通期連結業績
- 成長戦略に対する進捗状況
- 2026年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

「お客様第一主義」

世界に通用する技術・商品の開発
社員一人一人、個性の尊重及び力の結集
社会の変化を先取りし、自らも進化する
これらのことを総合し、企業価値の増大を図る

ビジョン

誰もが欲しがる
「凄い技術とサービス」の
創造企業

ミッション

- 役職員とその家族の幸せ
- お客様の満足
- 株主への還元
- ステークホルダーと共に成長し良好な関係を維持
- 住みよい社会と環境

経営方針

投資・育成・成長サイクルを通じて
グループビジョンの実現に向けた
経営戦略を実行

約束

- コンプライアンスとモラルの向上
- 「安全」と「環境」への配慮
- 革新と変化へのチャレンジ

ポンプ専門商社として創業、現在では水と空気に重点を置いた 環境装置全体に分野を拡大

ポンプ専門商社としてスタート >> ポンプメンテナンスシェア中国地方トップレベル・事業の多角展開 >> 成長期待事業への投資・株式公開・M&Aによるグループ力の拡大

環境・エネルギーセグメント

防災・安全セグメント

動力・重機等セグメント

環境・エネルギーセグメント

1991
ポエック(株)に商号変更

1989
広島県福山市にて五大販売(株)
(現ポエック(株))を設立

1998
「ナィアス」日本消防設備
安全センター認定品認定

2007
子会社(株)三和テスコでフィンランドのバーテルス社製
プレート&シェル熱交換器の国内独占製造販売権を取得

2014
富山県富山市にて(株)アムノス設立
「ハイパードライ羊膜」の開発及び事業化推進

2017
東京証券取引所JASDAQ
(スタンダード)市場上場

2015
(株)アムノスを
関連会社へ移行

2020
(株)三和テスコと(株)ミモト吸収合
併(存続会社: (株)三和テスコ)

1989 1991 1997 1998 2002 2003 2007 2008 2009 2011 2014 2015 2017 2019 2020 2021 2024

1997
山尾産業(株)より水処理
部門の営業権を譲受

2002
(株)オーゼットより営業権、製
造権、特許権を譲受
オゾン脱臭装置の販売を開始

2008
東洋精機産業(株)子会社化
(現連結子会社)

2011
セイブ(株)より営業権を譲受

2019
(株)ミモト
連結子会社化

2021
(株)マリシリバー
連結子会社化

2024
コーベックス(株)
連結子会社化

2003
(株)三和テスコ子会社化
(現連結子会社)
動力・重機等セグメントをス
タート

2009
オガタ工業(株)より水中攪拌機の営業権、
製造権を譲受

2019
協立電機工業(株)
連結子会社化

2021
AS(株)(現PBS株
式会社)設立

2024
アイエスプリン
クラー(株)
連結子会社化

M&Aによる事業拡大を加速

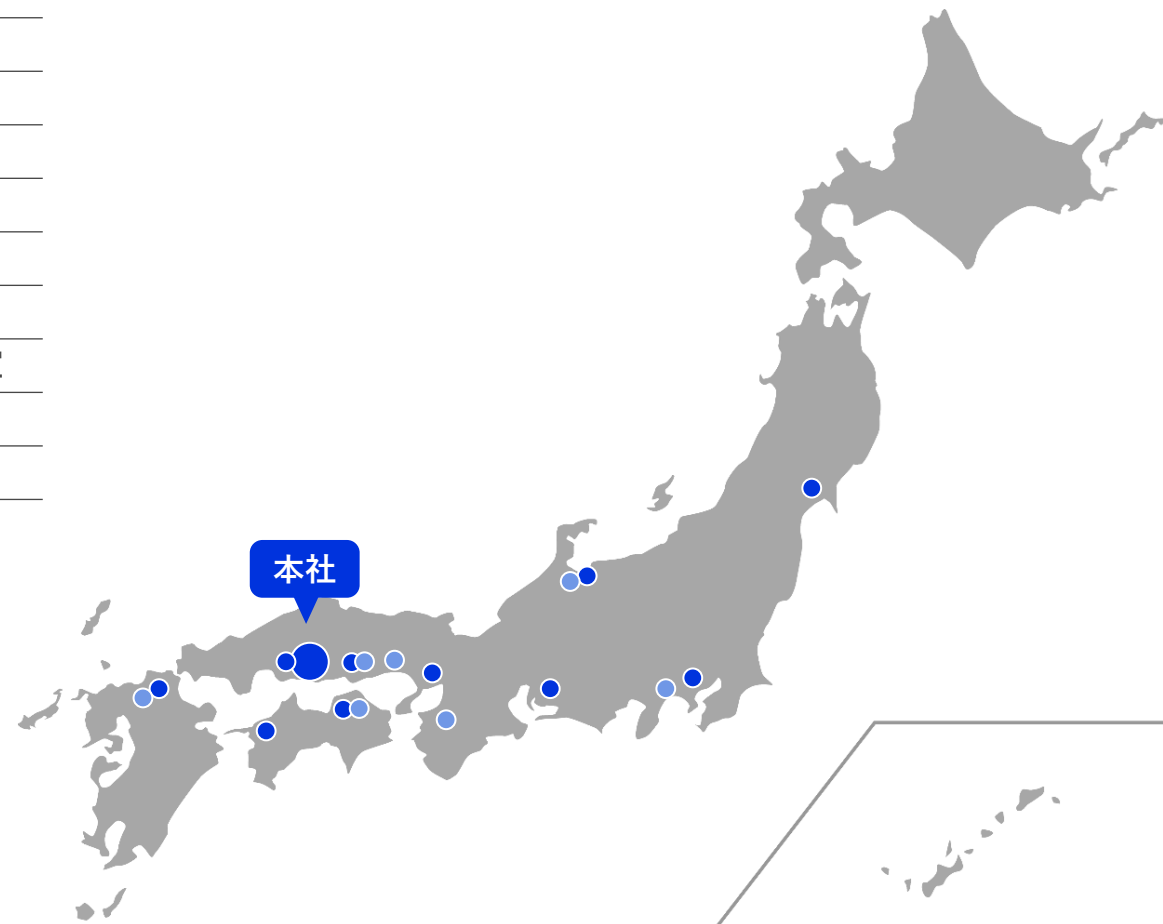
全国9営業所、2出張所、連結子会社7社で事業を展開

事業所

本社福山営業所	広島県福山市南蔵王町2-1-12
東京営業所	東京都中央区日本橋本町1-8-16 アポロタワー日本橋 2F
仙台営業所	宮城県仙台市太白区西多賀3-7-38 ディライト西多賀103
北陸営業所	富山県富山市高田527 4F
名古屋営業所	愛知県清須市阿原星の宮189-1 アクティブ星の宮 A号室
大阪営業所	大阪府大阪市東淀川区東中島 5丁目 6 - 8
岡山営業所	岡山県岡山市南区新保1308-2
広島営業所	広島県広島市西区中広町3-18-21 コーポラスナガイ102
福岡営業所	福岡県太宰府市国分1-1-41 オフィスパレア太宰府III 1号室
高松出張所	香川県高松市朝日町4-11-67
松山出張所	愛媛県松山市中村5-3-15 マッピーテナント B号室

連結子会社

株式会社三和テスコ	香川県高松市	出資率100%
東洋精機産業株式会社	岡山県岡山市	出資率100%
協立電機工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	出資率100%
株式会社マリンリバー	福岡県糟屋郡	出資率100%
PBS株式会社	富山県下新川郡	出資率100%
コーベックス株式会社	兵庫県神戸市	出資率100%
アイエスプリンクラー株式会社	和歌山県橋本市	出資率100%



- 会社概要
- 2025年8月期通期連結業績
- 成長戦略に対する進捗状況
- 2026年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

高い専門性 × 対応力 × エリア拡大 = ポエックの総合力



豊富な経験に裏付けされたポンプに関する高い専門性

幅広い分野からの依頼に応えてきた経験豊富な熟練技術者が多く在籍し、高い専門知識を保有

あらゆるポンプを知り尽くした幅広い対応力

ビル、工場、病院、学校、マンションなどの各種施設、
汚水処理用、防災用、排水用、スプリンクラー用など、各用途
また全メーカーのポンプにワンストップで対応可能
新規販売・買い替え・修理メンテナンスの全てのニーズに対し
スピーディーにソリューションを提供

広範囲をカバーする組織的なメンテナンス体制

全国 9事業所、2出張所、連結子会社で展開
今後さらにカバーエリアを拡大

革新的な環境・防災機器により持続可能な社会の実現に貢献

- 政府の掲げる防災・減災、国土強靱化対策需要の高まりにより、今後拡大が期待される市場
- 気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害や、切迫化する大規模地震に備え、被害を防止・最小化するための環境・防災機器の開発・製造・販売を推進

停電・断水時も作動する消火装置「ナィアス」

BCP

防災

消防法によりスプリンクラー消火設備の
設置義務のある病院や福祉施設を中心に販売拡大



福祉施設（スプリンクラー設備）

海沿いの景観と安全を守る防潮壁「SEEWALL」

津波

高潮

推進協議会の代表企業として取扱強化
港湾の津波対策事業の推進に伴い受注増加



兵庫県芦屋市 南芦屋浜

電力を使用せず、窒素ガスで加圧することで安定した散水を可能にし、 災害時に水道や電気が停止しても作動

世界初の 圧力水槽方式（窒素加圧）

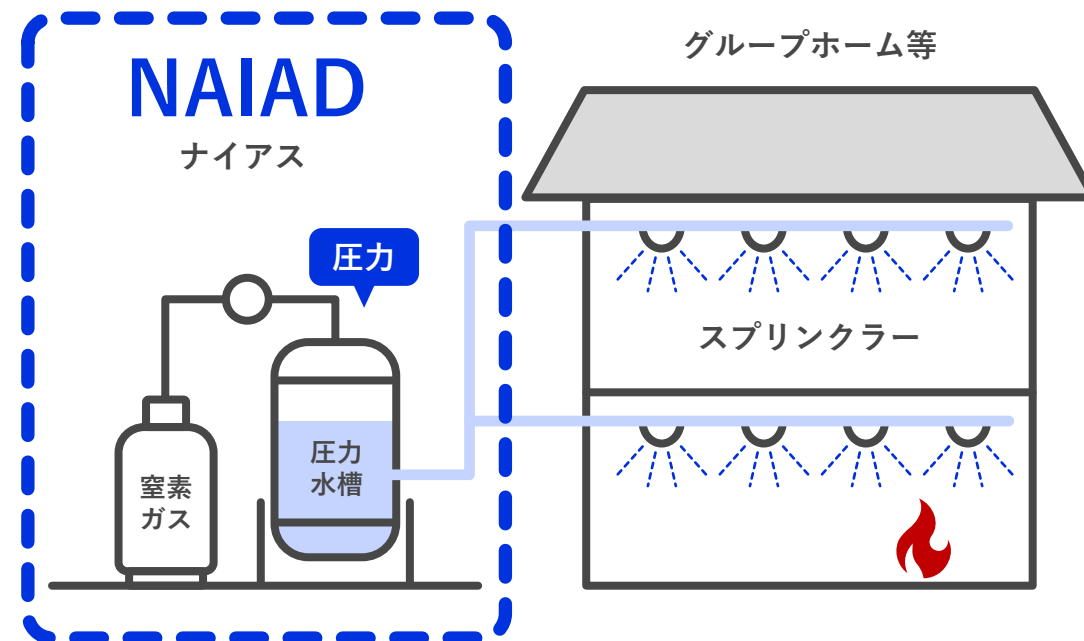
窒素ガスの圧力により、タンク内の水を安定供給する世界初の消火装置

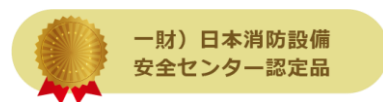
災害時に電気・水道がストップしてもOK

窒素ガスの圧力で送水するため、停電・断水時も確実にスプリンクラーを作動させることが可能

水槽内の水は非常用にも使用可能

水槽内の水は窒素ガスで封印されているため、水が腐敗せず、地震・災害時には、非常用として使用が可能（飲用は不可）





1998/1	当社製品「ナイアス」	一般財団法人日本消防設備安全センター評定品
2002/5	当社製品「ナイアス」	第10回中国地域ニュービジネス大賞を受賞
2003/1	当社製品「ナイアス」	第13回ニュービジネス大賞優秀賞を受賞
2006/7	当社製品「環銘」	経済産業省新連携事業認定
2009/9	当社製品「ナイアス」 NAP-M2400S	日本消防設備安全センター認定品※1
2012/2	当社製品「ナイアス」	第4回「ものづくり日本大賞」優秀賞受賞

※1 2009年9月以降、「ナイアス」NAP13N・NAP-M1200S・NAP6N・NAP-M2400・NAP16N・NAP20N・NAP-M3200が順次、財団法人日本消防設備安全センターの認定品となる

水辺の景観に配慮しながら、津波や高潮発生時に防潮壁の向こう側の様子を伝え、 地域住民の安全を守る

防潮壁設置数増加の背景

東日本大震災以降、水辺の安全確保に対する関心の高まりに伴い、想定水位が従来以上に高く設定され、防潮壁設置数が増加。

防潮壁設置による課題

- ・ 圧迫感のある壁により景観を損なわれる
- ・ 水辺情報の遮断が避難の遅れを引き起こす危険性

ポエックのソリューション

津波対策の問題と地域住民のニーズに応え、
景観と命を守る景観配慮型防潮壁「SEEWALL」

IRメール配信サービスについて

ご登録いただくと、当社ウェブサイトに掲載される最新のIR情報を公表と同時にメール受信いただけます。



IRメール配信登録

<https://www.magicalir.net/9264/mail/index.php>

Web版株主通信 PUEQU TIMESについて

環境負荷低減の観点より、2021年8月期期末より株主通信の紙面印刷・郵送を取り止め、当社ウェブサイトへの掲載に切り替えました。年2回（期末・中間）更新しておりますので、ぜひご覧下さい。

当社ウェブサイトIR情報ページについて

当社についてよりご理解を深めていただけるよう、IR情報ページにて積極的に情報開示を行っております。



IR情報トップページ

<https://www.puequ.co.jp/ja/ir.html>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがございます。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

なお、本資料の金額及び比率については、特に記載のない場合、以下のとおりです。

表示単位：百万円（単位未満切捨）

比率については円単位にて算出し、小数第一位未満を四捨五入

